

一色小学校における校内研究授業

11月20日(木)の6校時、一色小学校にて校内研究授業が行われました。今年度、一色小学校は『見方・考え方を働かせ、認め合い高め合う一色の子を育てる授業づくり ～逆算して考え、発問と資料提示で作る授業デザイン～』を研究主題として研究を重ねています。

6年1組の担任である小林弦矢先生が社会科の研究授業(単元名:全国統一への動き)を行いました。先生は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の業績によって全国が統一されていったという前回までの授業の確認を行った後、『三武将のうち、担任の先生にするならだれ?』という今日の授業の学習課題を黒板に明記しました。さらに先生は、児童が今までの学習を想起しやすくするために教科書の挿絵を黒板に貼りました。小林先生は「社会科の視点で、三武将の行った政策をしっかりとおさえて考えるように。」というアドバイスをしました。

それを受けて児童たちは、自分のノートや教科書・資料集を見直し、再度三武将の政策について振り返りました。その後、児童たちは、隣や近くの友達と積極的に意見交換を行いながら自らの考えを深めました。

さらにその後、先生は「三武将のうちだれが担任にふさわしいのかが決まっている人は前に出て自分の名前が書いてあるマグネットシートを挿絵の下に貼ってください。」と児童たちに呼びかけました。児童たちは友達がどこに貼るのかを気にしつつも自分の考えを挿絵の下に貼りました。

先生は授業の終わりに、「紙にまとめるアナログでも、タブレットを活用しデジタルでまとめるのもよいので、社会科の視点で自分の考えをまとめてください。」という指示を児童たちに伝えました。児童たちは思い思いの方法で黙々とその課題に取り組み自分の学びをさらに深めていました。



授業後、すべての教員が会議室に集まり校内授業研究会を行いました。今回の研究会は、(1)逆算して考える、(2)発問の工夫、(3)資料提示の工夫の3つを研究のポイントとして授業を返りました。先生方からは、「話し合いができる児童の環境と関係性がしっかりとできている。」、「1学期に学んだ公民の現代社会の構造や課題と関連付けて考察するといった社会科の見方・考え方をはたらかせる学習活動ができていた。」等の意見が出ました。閉会の挨拶で教頭先生からの「先生が日々の授業で児童理解をしっかりと積み重ねてきたことが今日の授業でうかがえた。素晴らしい授業が展開されていた。」といった言葉で会は終了しました。

研究会に取り組む一色小学校の先生方の姿にも、今後も子どもたちと共に学び続け、教師として成長していこうとする前向きさを感じました。・・・すべては「にのみや学園の子どもたち」のために・・・

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

